

アリマグミ(グミ科)*Elaeagnus murakamiana* Makino

兵庫県：Cランク

環境省：-

種の概要

落葉小高木。枝はやや細い。新しい枝は葉柄とともに、はじめ帯赤褐色の星状毛を密生するが、毛は大部分鱗片化するため、夏の枝は帯赤褐色の鱗片上に淡赤褐色の星状毛を一部散生するのみとなる。葉はやや小さく、長さ5-5.5cm、倒卵状楕円形ないし倒卵状長楕円形、短鋭尖頭で鈍くとがるが、上方の葉は鋭尖頭になる。またより狭葉のものもある。表面にははじめ淡黄褐色の星状毛を多生するが、のちに毛はまばらになり、裏面は銀色の鱗片をしき、その上にははじめ帯赤褐色の星状毛を散生する。やがてその毛は一部鱗片化しつつ葉面に残る。脈は表面にややくぼみ、裏面にはすこし隆起する。枝は下方の葉の裏面には粗大な暗褐色鱗を散生する。葉柄は短く、長さ5-5.5mmになる。花は4-5月に咲き、葉腋に1-2花。

国内分布

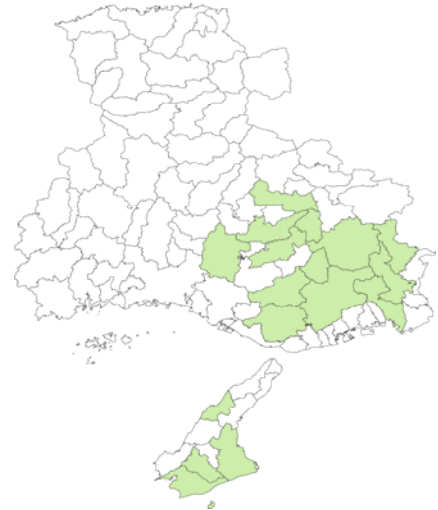
本州（静岡県～兵庫県東部(南近畿を除く)）

県内分布

西脇市、加西市、社町、吉川町、三木市、山南町、今田町、三田市、神戸市、猪名川町、宝塚市、西宮市、淡路一宮町、洲本市、三原町、南淡町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
					○	○

**特記事項**

分布の西限。

保護上の留意点

生育地の保全